

ご存じですか!?

ベテラン世代の 万引き問題

刑法犯全体の
約**2割**が万引き

万引き検挙者の
半数以上が高齢者
であること

犯行動機の多くは
「節約」!?

笑顔・挨拶が
万引きの抑止力!



富山県万引防止対策協議会



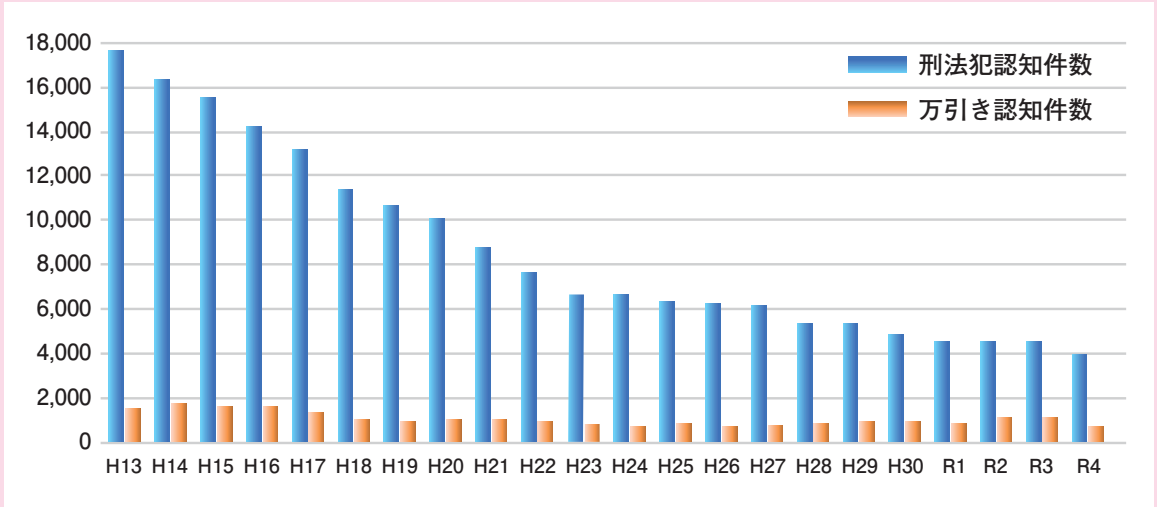
万引き犯罪の現況



令和4年における県内の万引き犯罪の発生状況は、前年比-410件の748件でしたが、令和2年から令和3年にかけて認知件数は千件を超えており、万引き犯罪の情勢が好転しているとは言い難い状況です。

令和4年の刑法犯認知件数は3,929件と、平成13年のピーク時から4分の1以下まで減少したのに比べ、万引き犯罪の減少幅は小さく、**刑法犯認知件数に占める万引きの割合は増加傾向**にあり、万引き防止が喫緊の課題となっています。

■全刑法犯に占める万引きの割合



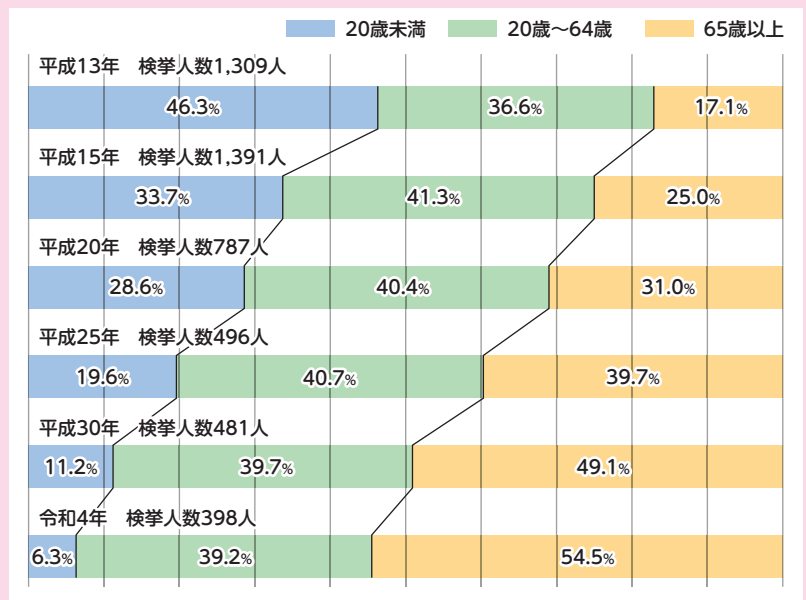
年齢層



少年の万引き検挙者数(補導を除く)は、年々減少して令和4年は25人と、青少年の健全育成に取り組んだ行政や警察、学校や教育関係団体など官民による長年の努力により、平成13年の606人から大幅に減少しました。

一方、高齢者の万引き検挙者数の減少幅は小さく、現在では**万引き検挙者(補導を除く)の5割以上を占める**に至っています。

■万引き検挙者における高齢者の割合 (%)

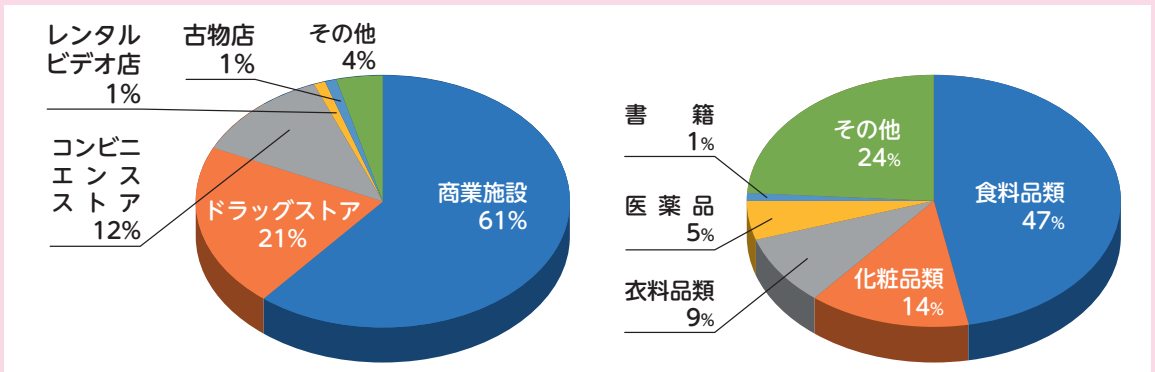


発生場所・主な被害品

県内の万引き犯罪は、商業施設・ドラッグストア・コンビニエンスストアにおける発生が全体の9割以上を占めています。また、主な被害品は「食料品類」が最も多く、次いで「化粧品類」、「衣料品類」、「医薬品」等となっています。

万引き犯罪は、最も身近な犯罪であり、被害を防ぐためには**万引き防止意識の醸成と万引きをさせない社会づくり**が必要不可欠となります。

■万引き犯罪の発生場所・主な被害品（令和4年中）



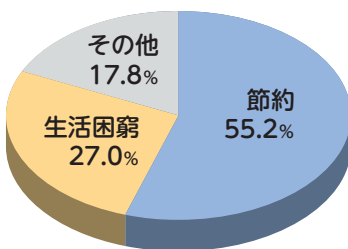
※商業施設（デパート、ショッピングモール、ショッピングセンター、スーパーマーケット等）

< 高齢者万引き事犯の主な特徴・態様 >

高齢者万引き問題の根源となる犯行動機や背景には「貧困」という問題があることは事実であるが、主たる要素ではないとしています。

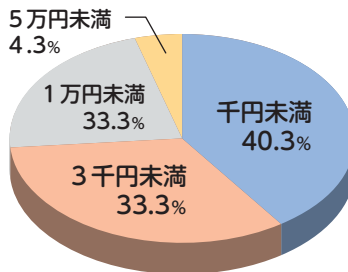
法務省犯罪白書(2018年)による高齢者万引き事犯の特徴・態様は以下の通りです。

動機



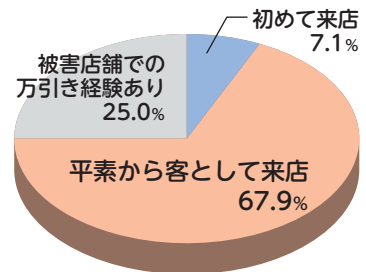
「節約」が55.2%を占め、次いで、「生活困窮」の27.0%

窃取物品の金額



「千円未満」が40.3%、「3千円未満」が33.3%と73.6%が被害金額が低い

被害店舗との関係

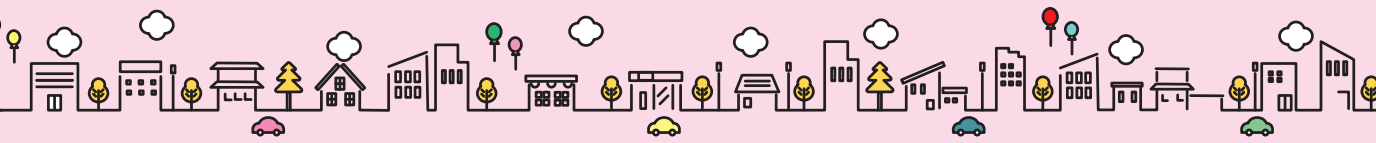


「平素から客として来店」が67.9%

背景事情

- 経済面では、収入は年金受給者が約6割である。月額収入では5～15万円が6割、5万円未満と安定収入なしが16.4%と少数である。
- 生活習慣では、男性がアルコール依存約2割、ギャンブル依存症約1割、心身の問題は女性約3割、男性約2割であり、「盗み癖」も男女とも心身の問題と同じ割合である。
- 家庭事情では、同居人なしが男性の半数で、しかも約3割が交流のある近親者がいない。女性は同居人ありが約7割で、さらに約2割に交流のある近親者が存在しており、男女で事情が大きく異なる。

(注) 本項は重複計上による比率です



被害防止対策の好事例



ホスピタリティ(おもてなしの心)のある挨拶や声かけ

相手の目を見て



笑顔で!



大きな声で挨拶!



「相手の目を見て」「笑顔で」「大きな声で」挨拶することで、イメージアップにつながるだけでなく、万引きを企てている人には牽制になります。怪しい行動をする人には「何かお困りでしょうか?」と声かけすることも有効です。



アルビス大島店 澤田店長
(前アルビスいするぎ駅店店長)

万引き被害を防ぐ店舗づくり

十分な店内照度の確保



死角を生まない商品陳列



スタッフの目が行き届いた
店内環境(整理・清掃)の構築

協力: アルビスいするぎ駅店

